

事務事業評価における総括

部 局 名	保健所	記入責任者	谷久保 康平
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>保健所の政策的事業については、５８事業を位置づけており、Ｓ評価は２３事業、Ａ評価は２４事業、Ｂ評価は１事業、Ｃ評価は２事業、Ｚ評価は４事業、実績なしは４事業としています。新型コロナウイルス感染症の影響等により、実績なしとなった事業を除き、おおむね順調に進捗していると考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>保健企画課の新型インフルエンザ対策事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた新型インフルエンザ対応訓練ではなく、実地での対応とし、新型インフルエンザ等対策会議、対策本部を開催し、市の方針を決定しました。例年実施していた訓練は開催していないため、実績なしとしています。他の実績のなかった事業についても、新型コロナウイルス感染症への対策を優先し、各事業内容を相対的に評価した上で、事業を中止等したものです。</p> <p>保健予防課の感染症普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症に関連した、研修会、講演会を実施することにより目標値を達成できたことからＳ評価としました。</p> <p>精神保健普及啓発に関する事務については、当事者家族や一般市民に対する講演会や各種教室は十分に実施できなかったためＣ評価としましたが、広報紙等によりコロナ禍におけるメンタルヘルス関連の記事を掲載する等、事業手法を臨機に見直しながら積極的に取り組むことができました。</p> <p>衛生課の食品衛生知識の普及啓発事業については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講習会は開催できませんでしたが、代替として郵送やホームページ及び窓口で普及啓発を図ることで成果をあげることができたため、Ａ評価としました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきます。目標値を達成できなかった事業については、指標の妥当性を検証するとともに、政策・施策目標の達成に向けて、事業実施手法の見直しや再度全体の事業の見直しを進めます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対策はまだ続くことが想定されます。今後も積極的疫学調査や、ワクチン接種対応のための人員を確保する必要があるため、保健所全体の事業について、引き続き柔軟な対応を行えるよう検討します。</p>			